



— 人間国宝から新進気鋭の若手まで —



第69回 日本伝統工芸展

The 69th Japan Traditional *KŌGEI*-Art Crafts-Exhibition

陶芸 / 染織 / 漆芸 / 金工 / 木竹工 / 人形 / 諸工芸



令和5年
2月15日(水) ▶ 3月5日(日)

February 15(Wed)- March 5(Sun) 2023

会期中無休

開館時間

9:00~17:00(金曜日は19:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで

《広島県内の入選作家》

陶芸 / 赤毛敏男、木村芳郎

染織 / 山城直子

漆芸 / 金城一國斎、高山尚也

金工 / 廣谷瑞穂

木竹工 / 小林松壽

諸工芸 / 栗根仁志

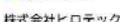


令和4年度文化庁補助事業

主催

広島県立美術館 / NHK広島放送局 / 朝日新聞社 / (公社)日本工芸会

協賛



入館料

一般 700円 / 高・大学生 400円 / 中学生以下無料

前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。学生券をご購入・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び聴覚障害者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

Hours: 9:00-17:00 (Fridays open until 19:00)

Admission Adults: ¥700

High school, college and university students: ¥400

※advance・group admission at ¥200 off the regular fee.



ワンコイン
観覧型

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館情報に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

上/河野祥寛 透刺代花版「朝露」日本工芸会総裁賞 中左/般若泰樹 吹分盤 朝日新聞社賞 中右/氣賀澤雅人 絹子切子鉢「波瑠璃」NHK会長賞
下左/佐竹孝子 木燧風通織着物「嵐」日本工芸会総裁賞 下右/田中義光 母絵箱「櫻花」高松宮記念賞

【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作8点を含む約280点を展示します。人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、炆器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶発的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品を紹介します。



隠崎隆一 備前白泥混滑花器
文部科学大臣賞

II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物を紹介します。



佐竹孝子 木綿風通織着物「宙」
日本工芸会新人賞

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした髹漆、貝を使った華やかな螺鈿など多彩な作品を紹介します。



田中義光 蒔絵箱「凜花」
高松宮記念賞

press release

IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鑄型に流し込んで成形する鑄金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。



般若泰樹 吹分盤
朝日新聞社賞

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けて口口を使った挽物、削って形を作る削物、薄い板を曲げて成形する曲物、板状の木を複雑に組み合わせた指物などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。



河野祥篁 透網代花籠「朝露」
日本工芸会総裁賞

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだろ物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。



満丸正人 木芯桐塑布和紙貼「夕浜」
日本工芸会奨励賞

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品を紹介します。



川邊雅規 硝子鶴首花入「凜然」
日本工芸会新人賞

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用は御遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。御了承ください。

※画像については提供が可能です。画像掲載の際には、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

【関連イベント】

■講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「型的美を求めて～文様の起点と展開～」

講師：鈴木滋人（染織作家、重要無形文化財「木版摺更紗」保持者）

日時：2月18日（土）13:30～15:00（開場13:00）

※聴講無料、要事前申込（当館082-221-6246）

■スライドトーク

日時・講師（分野）

2月23日（木・祝）13:30～ 金城一国斎（漆芸）

3月4日（土）13:30～ 小林松斎（木工）

所要時間：約40分

場所：地階講堂

※聴講無料、要事前申込（当館082-221-6246）

■インスタライブ配信

当館公式Instagramからギャラリートークを配信

日時・出演

2月22日（水）17:00～ 栗根仁志（七宝）

所要時間：約15分



公式Instagram

■子供ワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」

作品解説を書いてみよう。

あなたが書いた解説が新聞に掲載されるかも！？学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：2月19日（日）13:00～15:30（受付開始12:50）

講師：福田浩子（当館学芸課長）、岡地智子（当館学芸員）

受付：3階ロビー

対象：小学3年生～6年生

募集人数：6名程度

※参加無料、要事前申込（当館082-221-6246）

■青柳屋 展覧会オリジナルスイーツ

日本工芸会総裁賞《透網代花籠「朝露」》をイメージしたオリジナル和菓子をご用意します。

期間限定：2月15日(水)～26日(日)[1日10食限定]

料 金：抹茶セット 800円(税込)

場 所：3階ティールーム



■工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格で準備しております。

■お気に入りを見つけてシェア！

展覧会会場では、一部作品の撮影が可能です。

※作品保護のため、撮影時の注意事項をお守りください。

こどもガイドブック『工芸技法キャラクター図鑑5』

《しょうたい しつ ぼう Mr.省胎七宝》、《きりばめ そう がん 切嵌象嵌ぐらし》…さまざまな工芸の技が、愉快でちょっと変わったキャラクターに変身！工芸技法をわかりやすく解説した子供向けガイドブックを無料で配布します。ガイドブックに掲載された作品を全部見つけて、オリジナルキャラクターカードをゲットしよう！

対象：小・中学生以上

※大人の方も御参加いただけます。



【翻訳アプリコーナー(多言語対応)】

展示室内の数か所に受賞作の解説文をまとめて掲示し、翻訳アプリ使用可能コーナーを設置します。

【ワンコイン縮景園(縮景園連携)】

本展入館券の提示により、100円で縮景園に入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：第69回日本伝統工芸展

英語名：The 69th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

会期：令和5年2月15日(水)～3月5日(日) 会期中無休

開館時間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで

料金：一般 700円 高・大学生400円 ※中学生以下無料

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。

※学生券を購入・入場の際は学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳を提示してください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館情報に変更の生じる場合があります。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助成：令和4年度文化庁補助事業 

協賛：マツダ株式会社／大田鋼管株式会社／株式会社ヒロタニ／株式会社ヒロテック／広島県信用組合／
一般財団法人ケンシン地域振興財団

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 岡地 智子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる

来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

- 次に該当するお客様は、入館を御遠慮ください。
 - ・発熱や、軽度であっても咳・のどの痛みなどの症状があるなど体調の悪い方
- 協力をお願い
 - ・正しいマスクの着用、手指のアルコール消毒、咳エチケット
 - ・会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。
 - ・人と人との接触を避けるため、できるだけ1mの距離を空けてください。
 - ・来館者が多い場合は、入場制限を行う場合がございます。

